



仕様書

I 工事概要

1. 工事場所 鶴岡市泉町5-57、5-140

2. 敷地面積 1903.64 m<sup>2</sup>

3. 工事種目

外構工事
1. 舗装
2. 排水
3. 区画線
4. 圍墻
5. 植栽
6. その他
7. 工作物 (プレハブ塗り診療所: 1棟)
8. 工作物 (アルミニウム合金造り車寄せ: 1棟)
9. 撤去
10. 発生材運搬
11. 発生材処分
12. 既存施設側溝改修

電気設備工事  
機械設備工事

4. 工事範囲  
※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。  
・「3. 工事種目」のうち \_\_\_\_\_ の工事範囲は下表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

2 仮設工事	工事範囲すべて
3 土工	工事範囲すべて
4 地業工事	工事範囲すべて
5 鉄筋工事	工事範囲すべて
6 コンクリート工事	工事範囲すべて
7 鉄骨工事	工事範囲すべて
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	
9 防水工事	工事範囲すべて
10 石工事	工事範囲すべて
11 タイル工事	工事範囲すべて
12 木工	工事範囲すべて
13 屋根及びとい工事	工事範囲すべて
14 金属工事	工事範囲すべて
15 左官工事	工事範囲すべて
16 建具工事	工事範囲すべて
17 カーテンウォール工事	工事範囲すべて
18 塗装工事	工事範囲すべて
19 内装工事	工事範囲すべて
20 ユニット及びその他の工事	工事範囲すべて

II 建築工事仕様

1. 共通仕様  
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下「標準」という。）

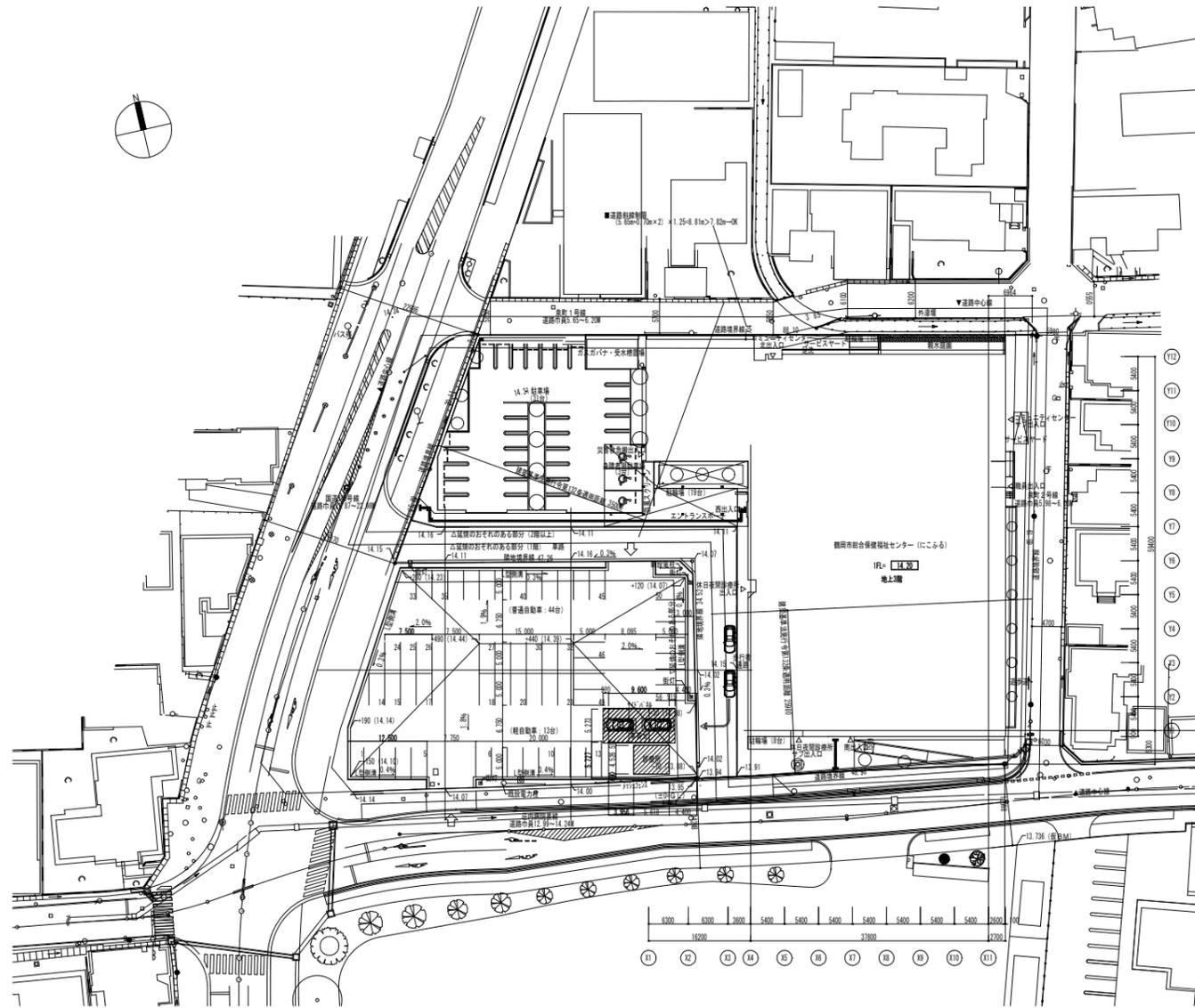
2. 特記仕様  
(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と◎印の付いた場合は、ともに適用する。  
(3) 特記事項に記載の ( ) 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
(4) 特記事項に記載の (別- ) は、標仕の「別図 各部配筋」の当該項目又は当該表を示す。  
(5) 特記事項に記載の (別2- ) は、標仕の「別図2 ポルト間隔等及び溶接継手の開先形状」の当該項目を示す。  
(6) ☐印は「国等による環境物品等の調達に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。

章	項目	特記事項	
I 一般共通事項	① 適用基準等	○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版） ○監修工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版） ・建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版） ○建築工事監理指針（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年度版）	
	② 工事実績情報の登録	※適用する (1.1.4)	
	③ 品質計画等	・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 ※風速 $V_t = (32)$ m/s (平12建告第1454号第2) ※地表面粗度区分 - I - II - III - IV ・積雪区分 平12建告第1455号 別表 ( )	
	4 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ・要 ・不要	
	⑤ 施工条件	下記以外は現場説明書による。 (1.3.5) ・工事現場 ※図示	
	⑥ 発生材の処理等	※現場説明書による ・構外搬出適切処理 (1.3.8)	
	⑦ 環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等 (1.4.1) 本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、次の (1) から (5) を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (5) (1)、(3)及び(4)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。	
	⑧ 材料の品質等	ホルムアルデヒド放散量	該当する材料
		規制対象外	① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 接着剤等不使用 b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
	⑨ 特別な材料の工法	第三種	① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
		本工事に使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の (1) ~ (6) の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（社）公共建築協会等）が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価書」の評価書等の写しを、監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員との承諾を受けた場合は、この限りではない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員との承諾を受ける。	
		標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。	

⑩ 技能士	適用工事種別	技能検定作業
11 化学物質の濃度測定	仮設工事	○こび作業
	鉄筋工事	○鉄筋組立作業
	コンクリート工事	○造粒工作業 ・コンクリート圧送工作業
	鉄骨工事	○構造物鉄工作業 ・とび作業
	コンクリートブロック・ALCパネル	・コンクリートブロック工作業 ・エーエルシーパネル工作業
	押出成形セメント板工事	
	防水工事	・アスファルト防水工作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・合成ゴム系シート防水工作業 ・塩化ビニル系シート防水工作業 ・セメント系防水工作業 ・シーリング防水工作業 ・改質アスファルトシート工法防水工作業 ・FRP防水工作業
	石工事	・石張り作業
	タイル工事	・タイル張り作業
	木工	・大工工作業
屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工作業	
金属工事	○鋼製下地工作業 ・内外装板金作業	
左官工事	○左官作業	
建具工事	○ビル用サッシ工作業 ○ガラス工作業 ・自動ドア工作業	
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工作業 ・ビル用サッシ工作業 ・ガラス工作業	
塗装工事	・建築塗装作業	
内装工事	○プラスチック系仕上げ工作業 ・カーペット系仕上げ作業 ○ボード仕上げ工作業 ・壁装作業	
排水工事	○建築配管作業	
舗装工事	○溶融ベントハンドマーカー工作業 ・加熱ベントマシンマーカー工作業	
舗装工事	○造園工作業	
11 化学物質の濃度測定		(1.5.9) 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告する。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定 ※行わない ・行う 測定対象室 ・図示 ・ 測定箇所数 ・図示 ・
		⑩ 完成時の提出図書 監督者への提出部数は以下の通りとし、施工については現場説明書による (1.7.1~3) (表1.7.1) ※完成図 (A1版、A3版) 提出部数 ※各2部 ○3部 (他 A1版原因、CADデータDWG (DDR)) ※施工計画書 提出部数 ※1部 ・2部 ※施工図 提出部数 ※1部 ・部 ※安全に関する資料 提出部数 ※2部 ○部 ・安全に関する資料は(財)建築安全センター「標準安全マニュアル」により作成すること。
⑩ 完成写真		監督者への提出部数は以下の通りとし、施工については現場説明書による 次のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影者の保管とする。 分類・規格 撮影箇所数 提出部数 原稿の大きさ (mm) ○カラー ※キャビネ版 外部 (4) 内部 (20) ※2 ○3 ※100×125以上 外部正面 (※1・ ) ※5 ・ ・カラー四切木製パネル 外部 ( ) 内部 ( ) ※2 ・ ・カラー半切木製パネル 外部 ( ) 内部 ( ) ※2 ・ ○電子データ 外部 ( ) 内部 ( ) ※2 ○1 ※500画面素以上 撮影者は、建築完成写真撮影の実績がある者で、監督職員が承諾する者とする。 電子データは、RGB (フルカラー) ・JPEG形式最高画質とし、GD-Rにて提出する。
⑭ 設備工事との取合い		設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員との承諾を受ける。
⑮ 設計GL		※図示
⑯ 工事写真		工事写真は、工事進捗状況を示す逐次撮影し工事報告書に添付して監督者に提出する。
⑫ 仮設工事	1 監督職員事務所	規模35m <sup>2</sup> 程度 (2.3.1) 机、テーブル、ロッカー
	② 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる (※有償 ・無償) (2.3.1)
	③ 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる (※有償 ・無償) (2.3.1)
	4 足場	外部足場は手摺先行方式とする。
⑬ 土工事	① 埋戻し及び盛土	種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (3.2.3) (表3.2.1) ・建設汚泥から再生した処理土 ☐
	② 建設発生土の処理	※現場説明書による ・構外搬出適切処理 ・構内指定場所に堆積 ○内指定場所に敷均し ・指定場所に搬出 (3.2.5)

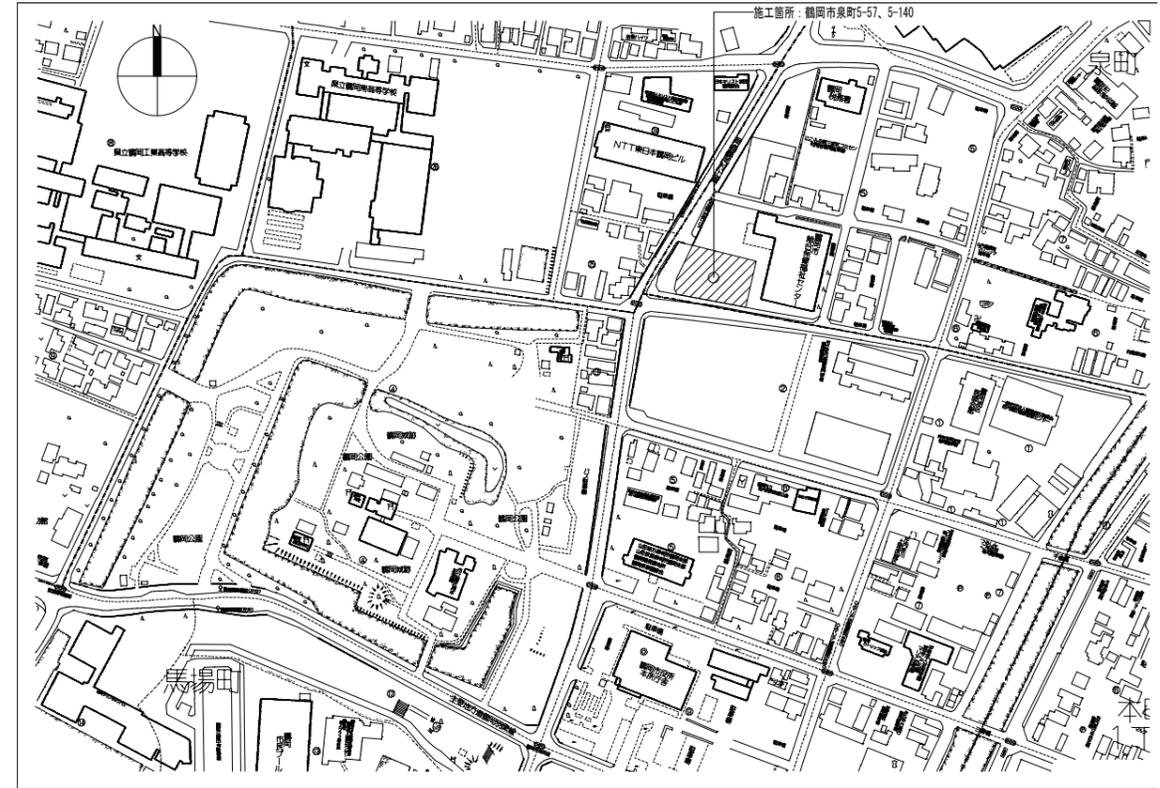
④ 地業工事	1 既製コンクリート杭地業	種類 ※遠心力高強度プレストレストコンクリート (PHC杭) (4.3.2)
		寸法及び継手 試験杭 本杭
		先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.2) 杭の継手 建築基準法に基づく指定関において性能評定を受けた無溶接継手を (4.3.6) 使用してもよい。 杭頭の処理 ※切断しない (4.3.7) 施工法 ※特定埋込杭工法 (4.3.3~5) ・平13国交告第1113号第6による支持力算定式で $\alpha = ( )$ 、 $\beta = ( )$ 、 $\gamma = ( )$ を採用できる工法 工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 杭周固定液 ・使用する ・使用しない
	2 場所打ちコンクリート杭地業	鉄筋の種類 5章鉄筋工事1鉄筋による (4.5.3) セメントの種類 高炉セメントB種 ☐ (4.5.3) コンクリートの種類及び設計基準強度 (4.5.3) (表4.5.1) ( )種、かつ、( )N/mm <sup>2</sup> 以上 掘削工法 ・アースドリル工法 (安定液使用 ・無水掘削) (4.5.4.5) ・リバース工法 ・オルケシング工法 (孔内の水張り ・行う ・行わない) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・拡底杭工法 (※安定液使用 ・ )
	③ 砂利地業	孔壁測定 ・行う ( ) ・行わない (4.5.4.5)
	④ 床下防湿層	材料 ※再生クラッシュラン ☐ ・切込砂利及び切込砕石 (4.6.2) 施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) (4.6.5)
⑤ 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1) 種類の記号 呼び名 (mm) ○SD295A ※D16以下 ・ ・SD345 ※D19以上 ・ ・ ・
	② 溶接金網	網目の形状、寸法等 (5.2.2) 網目の形状、寸法等 (縦×横) (mm) 鉄線の径又は呼び名 (mm) 規格 ※100×100 ※6.0 ※JIS G 3551による ・150×150 ・3.2
	③ 鉄筋の継手及び定着	継手方法等 (5.3.4) (5.4.1) (5.5.1) 部 位 継手方法 呼び名 (mm) 柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・重ね継手 その他の鉄筋 ( ) ※重ね継手 ・
		鉄筋の重ね継手の長さ (5.3.4) ※鉄筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示)
		鉄筋の定着長さ (5.3.4) ※鉄筋の定着長さは、建築基準法施行令第73条による。(図示)
	④ 鉄筋のかぶり厚さ	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地底から算定する。 (5.3.5) (表5.3.6) ・耐久性上不利な箇所鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 施工箇所 標仕表5.3.6の値に加える寸法 (mm) ・柱、梁、壁及び庇等の外気に接する打放し面 ※10
	5 既製コンクリート杭の杭頭補強	補強種別 ・A形 ・B形 ※図示 (別-1.1)
	6 最上階柱頭補強	※図示 (別-2.1)
	7 帯筋	組立の形の種別 ※H形 (口は除く) ・ (別-2.2)
	8 壁開口部の補強	一般壁 ・A形 ※B形 ・図示 (別-4.2) (別-表4.3.4) 耐震壁 ※図示
	9 梁貫通孔の補強	補強形式 ※H形 ・M形 ・M形 (別-7.1) (別-表7.1~3) 配筋種別 ※図示
10 機械吊上げ用フック	・A種 ( ) 箇所 ・B種 ( ) 箇所 ・C種 ( ) 箇所 (別-7.3)	
11 圧接完了後の試験	抜取試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.9)	



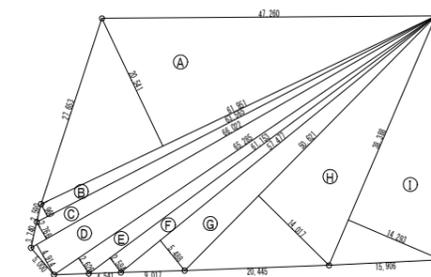


配置図 S=1:500

面積表			
敷地面積	1,903.64 m <sup>2</sup>		
	診療所	車寄せ	計 (m <sup>2</sup> )
建築面積	25.67	62.53	88.20
延床面積	25.67	62.53	88.20
最高高さ	3.530 m		
最高軒高	3.137 m		
建ぺい率	4.64 % < 70.00 % (角地緩和)		
容積率	3.71 % < 200.00 %		
用途地域	都市計画地域(市街化区域) 用途地域: 第2種住居専用地域 建ぺい率: 60.00 % 容積率: 200.00 % 高さ制限: 第1種高度地区(15m)		
防火地域	準防火地域		
地名地番	山形県鶴岡市泉町5-57、5-140		
主要用途	医療施設(診療所)		



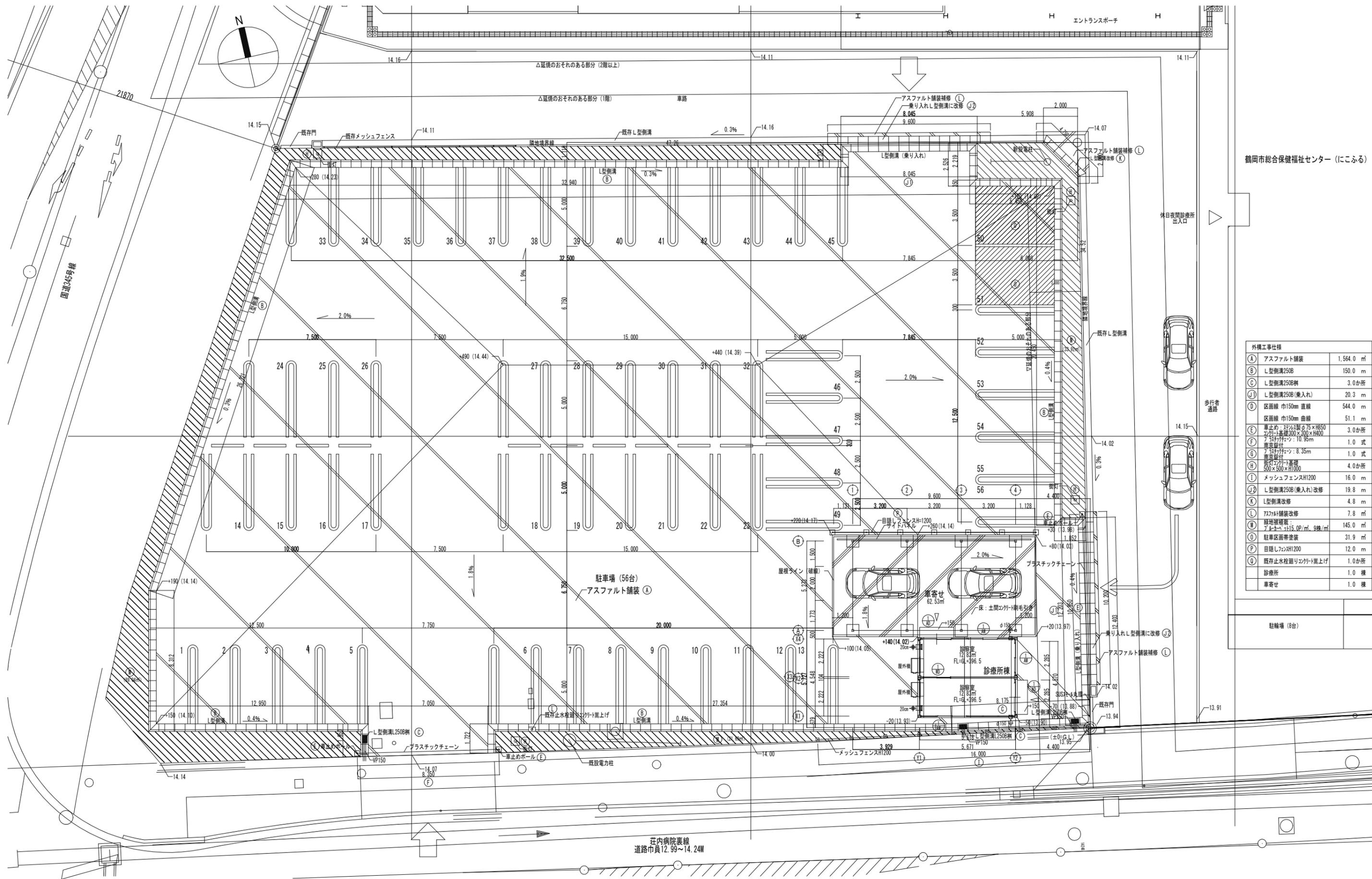
付近見取図



敷地面積求積図 S=1:500

記号	計算式	m <sup>2</sup>
(A)	61.951 × 20.541 ÷ 2	636.2677
(B)	63.565 × 1.960 ÷ 2	62.2937
(C)	66.022 × 2.766 ÷ 2	91.3084
(D)	66.022 × 4.914 ÷ 2	162.2160
(E)	65.285 × 2.626 ÷ 2	85.7192
(F)	61.153 × 2.584 ÷ 2	79.0096
(G)	57.477 × 5.488 ÷ 2	157.7168
(H)	50.621 × 14.017 ÷ 2	354.7772
(I)	38.388 × 14.293 ÷ 2	274.3398
計		1,903.6484
改め計		1,903.64

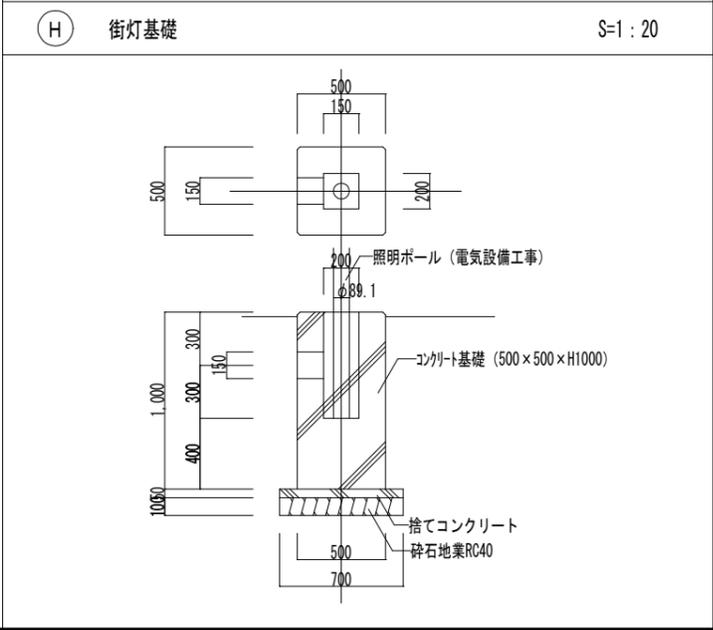
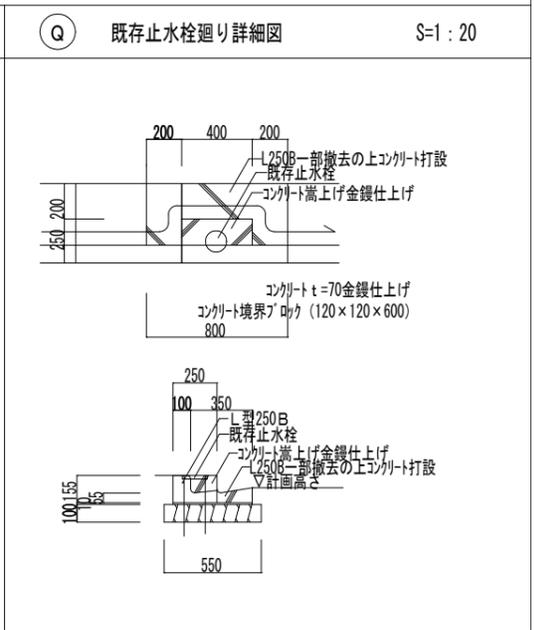
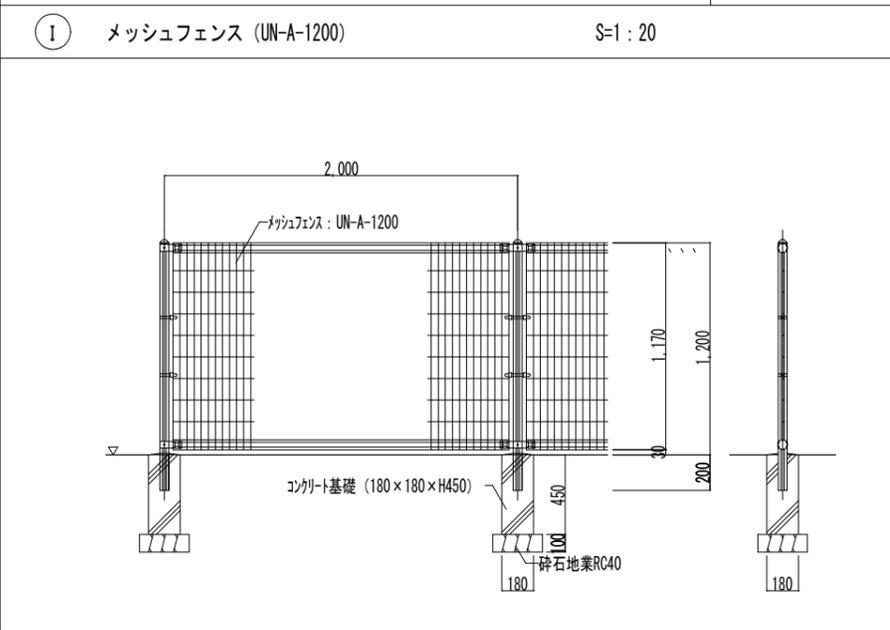
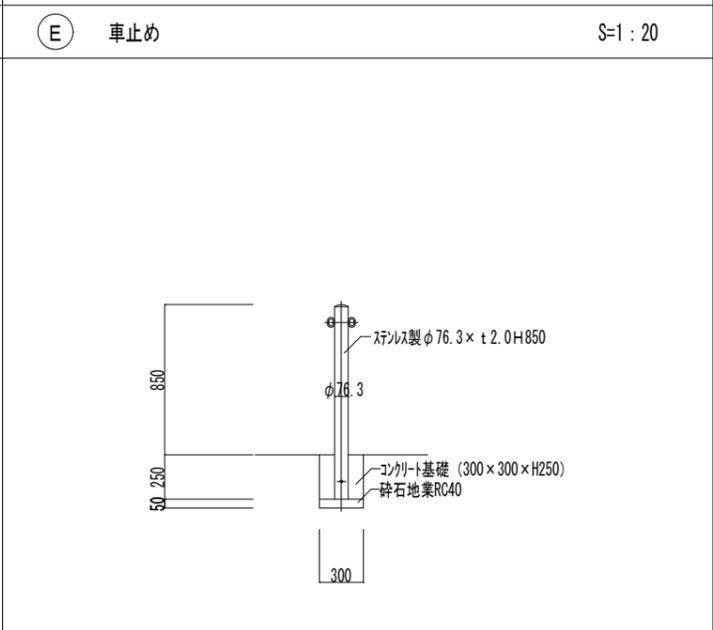
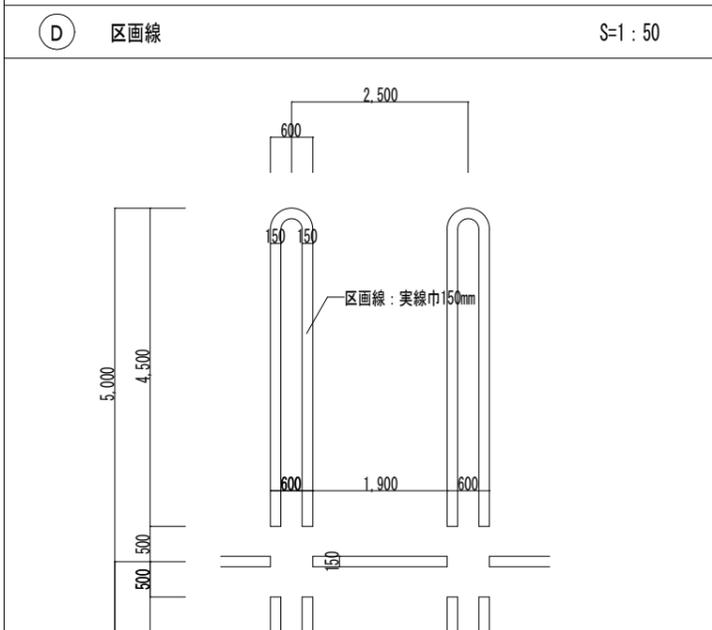
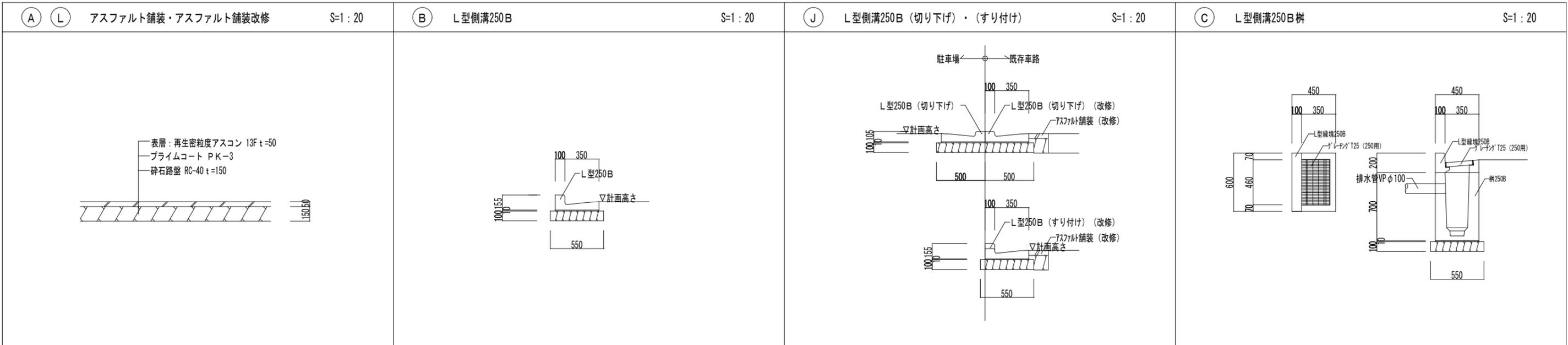




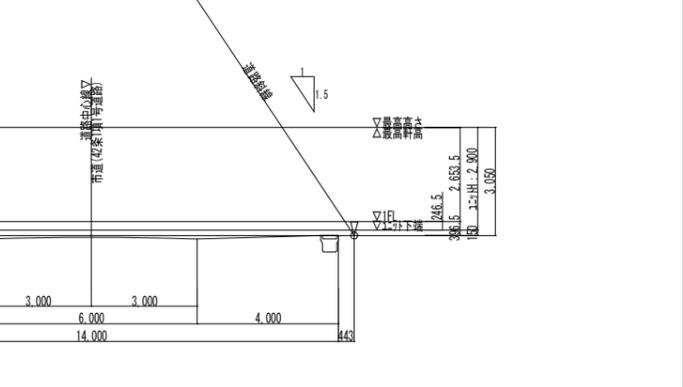
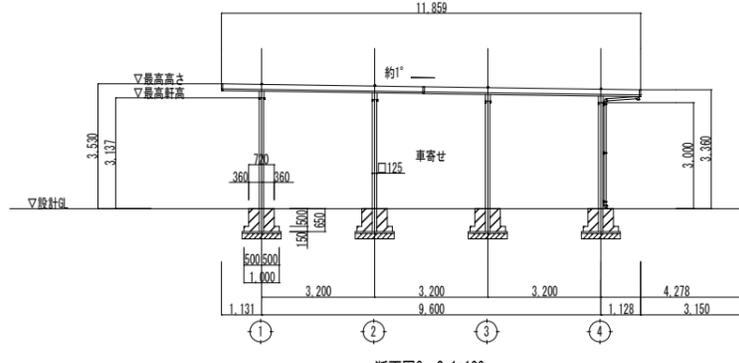
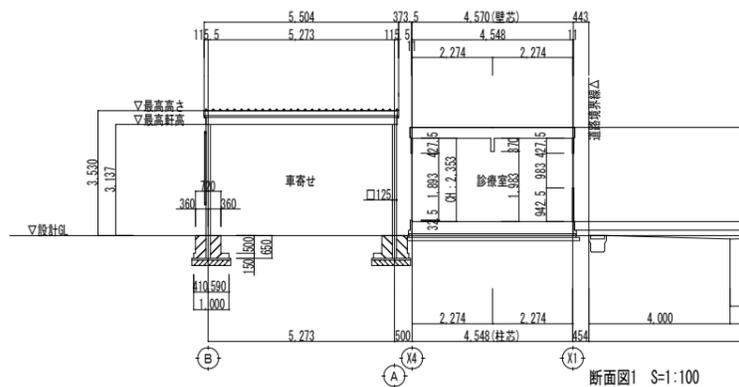
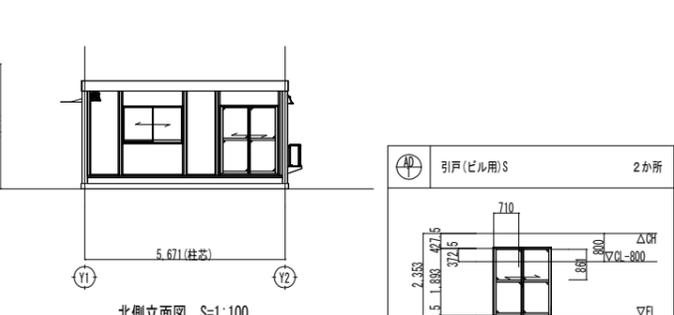
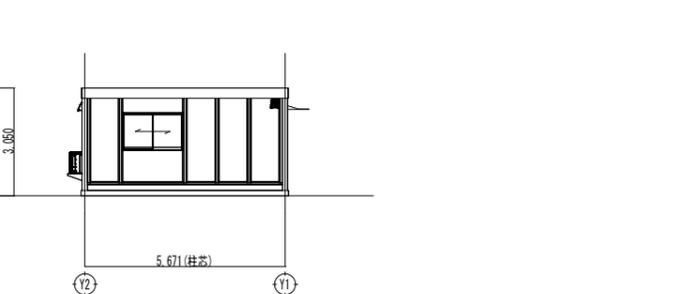
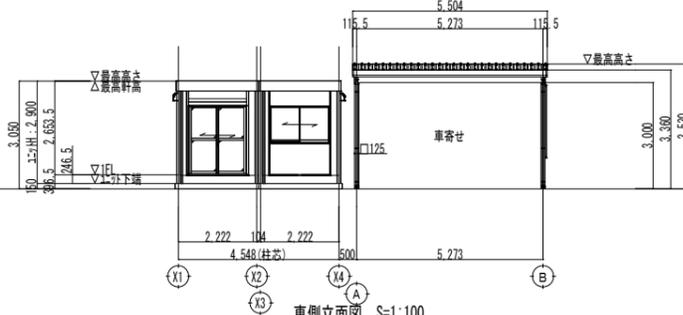
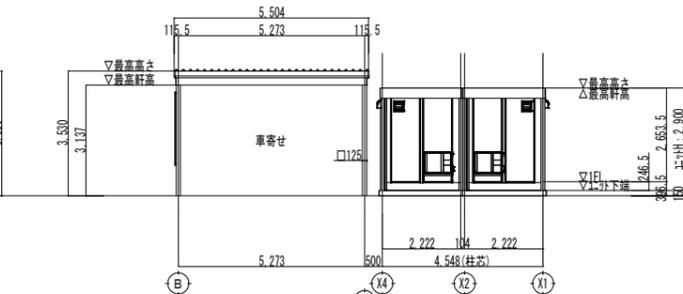
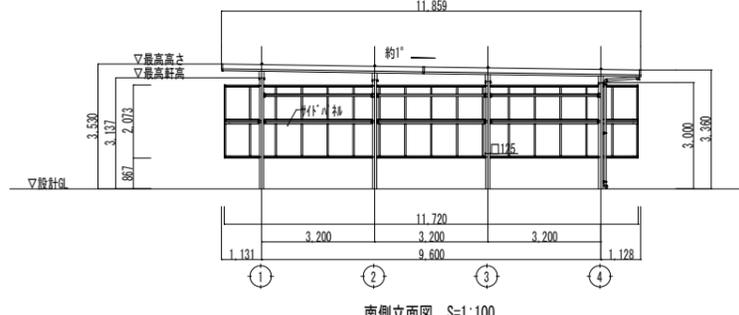
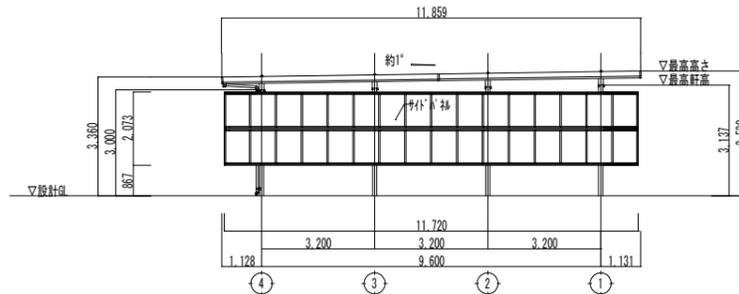
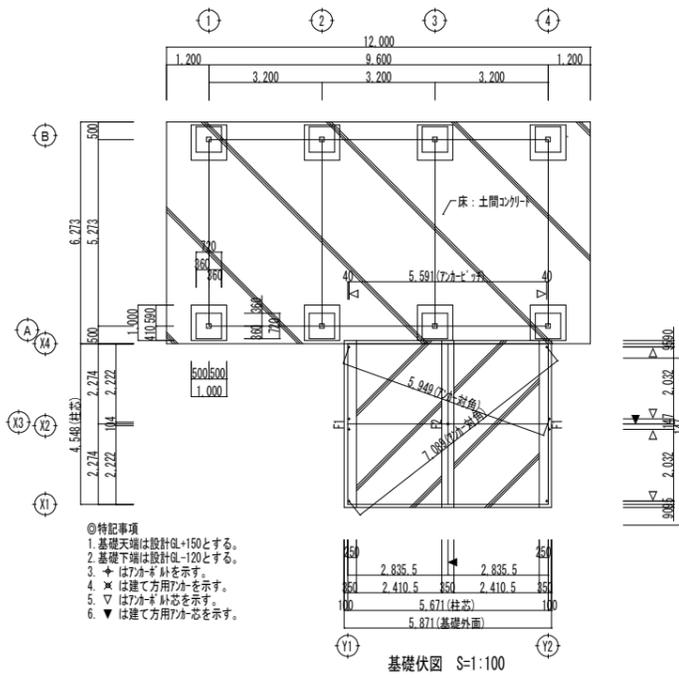
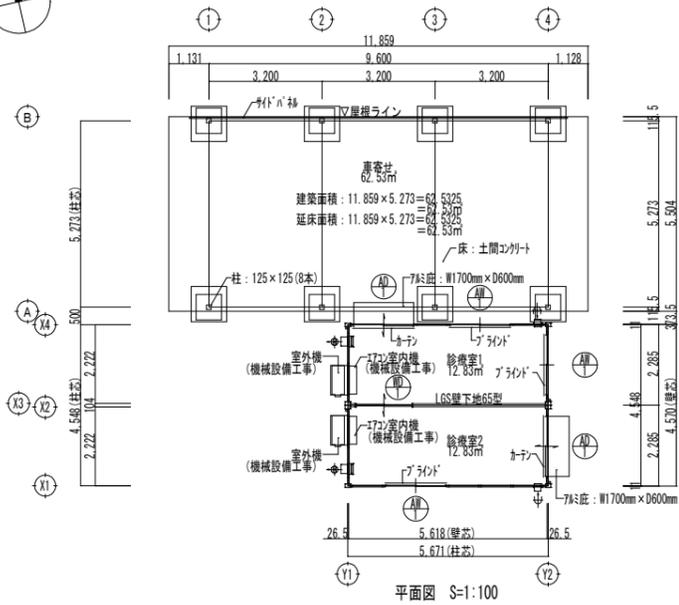
鶴岡市総合保健福祉センター (にこふる)

外構工事仕様	
Ⓐ アスファルト舗装	1,564.0 m <sup>2</sup>
Ⓑ L型側溝250B	150.0 m
Ⓒ L型側溝250B併	3.0か所
Ⓓ L型側溝250B (乗入れ)	20.3 m
Ⓔ 区画線 巾150mm 直線	544.0 m
Ⓕ 区画線 巾150mm 曲線	51.1 m
Ⓖ 車止め: スリッパ型φ75×H850 コア: 基礎300×300×H400	3.0か所
Ⓗ 防落柵 高さ: 10.95m	1.0 式
Ⓘ 防落柵 高さ: 8.35m	1.0 式
Ⓚ 防落柵 高さ: 500×500×H1000	4.0か所
Ⓛ メッシュフェンスH1200	16.0 m
Ⓜ L型側溝250B (乗入れ) 改修	19.8 m
Ⓝ L型側溝改修	4.8 m
Ⓟ アスファルト舗装改修	7.8 m <sup>2</sup>
Ⓠ 緑地保護柵 アスファルトφ15.0P/m <sup>2</sup> 9株/m <sup>2</sup>	145.0 m <sup>2</sup>
Ⓡ 駐車区画帯塗装	31.9 m <sup>2</sup>
Ⓢ 目隠しフェンスH1200	12.0 m
Ⓣ 既存止水栓廻りコンクリート嵩上げ	1.0か所
診療所	1.0 棟
車寄せ	1.0 棟

駐輪場 (8台)



特記事項 (診療所棟・車寄せを除く)	
砕石	再生砕石クラッシャーラン (CR-40)
捨てコンクリート	設計基準強度 Fc=18N/mm <sup>2</sup> 、スランプ15cm
一般コンクリート	設計基準強度 Fc=18N/mm <sup>2</sup> 、スランプ15cm

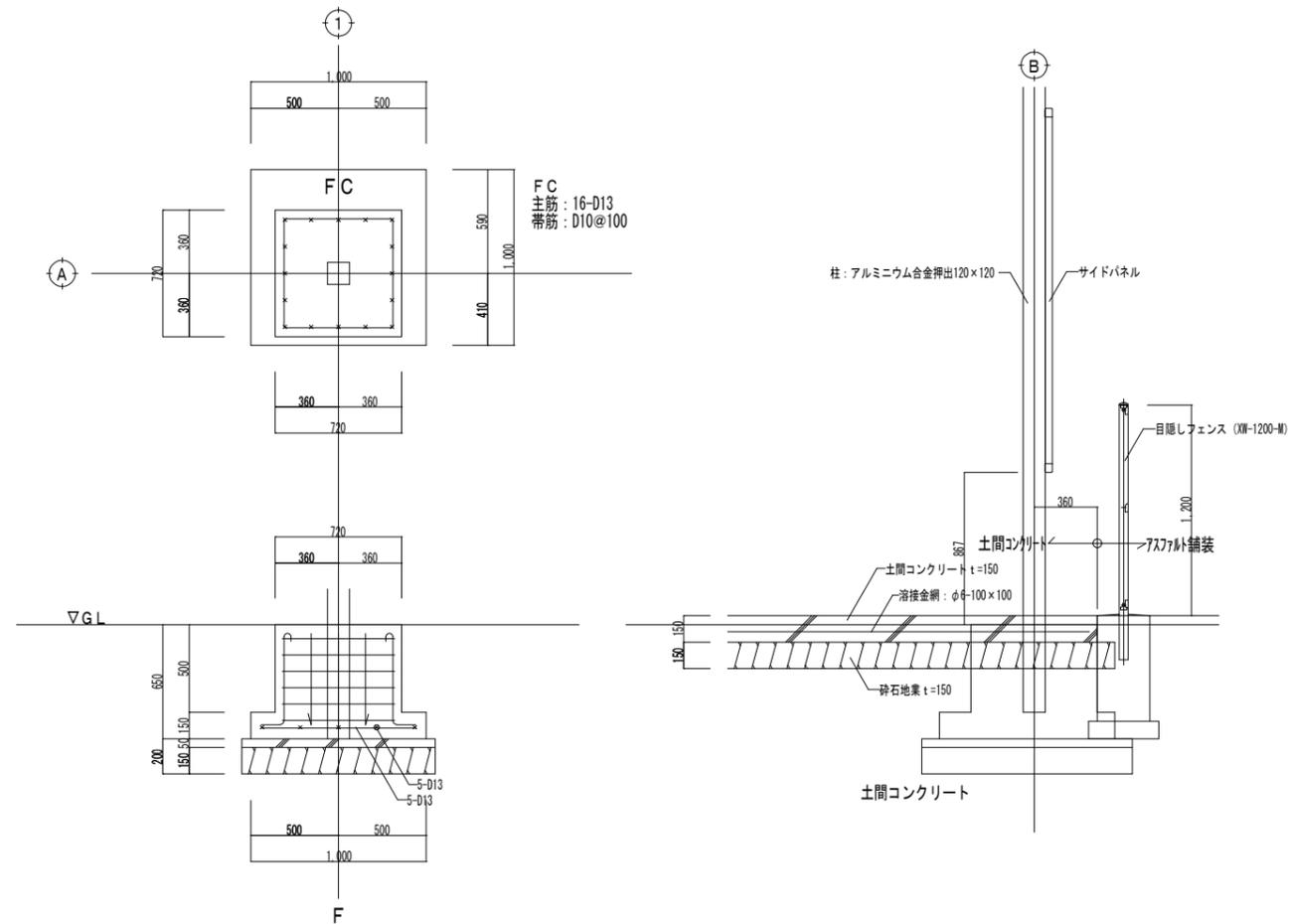
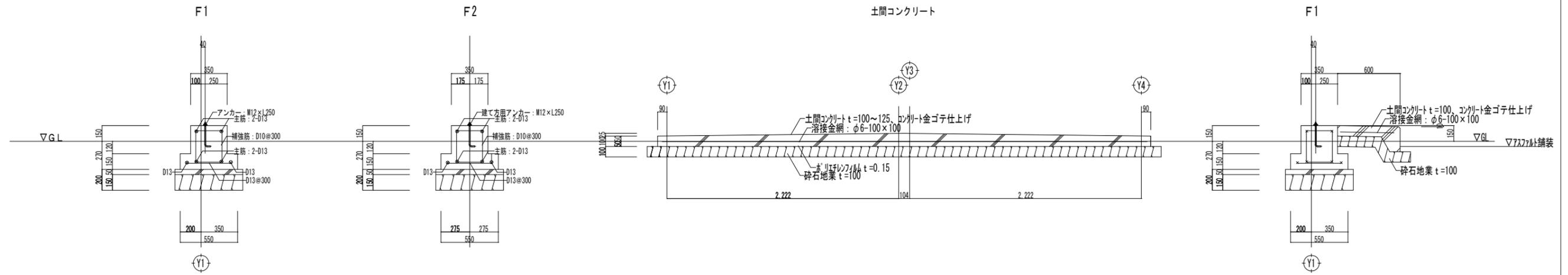


採光検討		換気検討		排煙検討	
1階	診察室1	12.83	12.83	1階	診察室1
	必要面積	12.83 / 20 = 0.64	12.83 / 50 = 0.26		必要面積
	判定	OK	OK		判定
	有効面積合計	1.63	0.86		有効面積合計
	判定	OK	OK		判定
	備考	(内) 採光採寸 / (外) シリコ			備考
1階	診察室2	12.83	12.83	1階	診察室2
	必要面積	12.83 / 20 = 0.64	12.83 / 50 = 0.26		必要面積
	判定	OK	OK		判定
	有効面積合計	4.69	2.14		有効面積合計
	判定	OK	OK		判定
	備考	網戸			備考

■ 建物面積		■ 内部仕様	
建築面積	25.67 m <sup>2</sup>	階数	2階
1階床面積	25.67 m <sup>2</sup>	室名	事務室
延べ床面積	25.67 m <sup>2</sup>	下地	硬質木片フローリング t=18
■ 外部仕様		仕上/寸法/色	長尺塩ビシート t=2.0
名称	仕様	品名/品番/メーカー	7077J-47-A 東リ
屋根	仕上: 鋼板 t=0.5 (不燃NM-8697)	仕上/寸法/色	7077J-47-A 東リ
雨樋	断熱材: 20mm厚 EPS t=20	品名/品番/メーカー	7077J-47-A 東リ
外壁 (複合パネル)	軒樋: 鋼板 t=1.6+塗装	仕上/寸法/色	7077J-47-A 東リ
	縦樋: φ55鋼管 t=1.2+塗装	品名/品番/メーカー	7077J-47-A 東リ
	断熱材: 20mm厚 EPS t=20	仕上/寸法/色	7077J-47-A 東リ
	内部仕上: 鋼板 t=0.5 (不燃NM-8697)	品名/品番/メーカー	7077J-47-A 東リ
板金金物	パネル: 鋼板 t=1.2+塗装 土台: 鋼板 t=1.2+塗装	仕上/寸法/色	7077J-47-A 東リ
塗装	鉄部見え掛かり: 錆止め 一液型珪酸樹脂下塗り塗装	品名/品番/メーカー	7077J-47-A 東リ
外部建具	7FAS柱	仕上/寸法/色	7077J-47-A 東リ

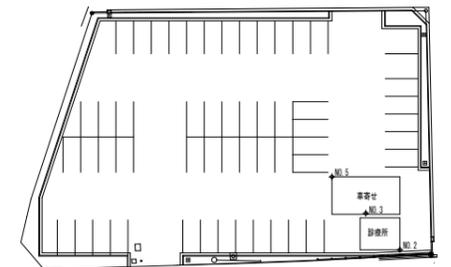
■ 認定番号		■ 換気給気設備 凡例	
7FAS柱: 不燃NM-8697	硬質木片フローリング: 準不燃H12建設省告示1401号	記号	名称
石膏ボード: 不燃NM-8619	石膏ボード: 準不燃NM-9828	①	20cm換気扇 壁タイプ
化粧石膏ボード: (天井) 不燃NM1864	化粧石膏ボード: (天井) 不燃NM1864	②	φ150給気口
化粧石膏ボード: (壁) 準不燃NM-9824	防水石膏ボード: 不燃NM-9639	③	防虫網付
化粧石膏ボード: (壁) 準不燃NM-9824	普通硬質石膏ボード: 不燃NM-9645	④	防虫網付
化粧石膏ボード: (壁) 準不燃NM-9824	化粧石膏ボード: 不燃NM-9639	⑤	防虫網付
化粧石膏ボード: (壁) 準不燃NM-9824	化粧石膏ボード: 不燃NM-9639		
化粧石膏ボード: (壁) 準不燃NM-9824	化粧石膏ボード: 不燃NM-9639		
化粧石膏ボード: (壁) 準不燃NM-9824	化粧石膏ボード: 不燃NM-9639		

■ 換気給気設備 凡例		■ 車寄せ: 主要部材一覧		面積表	
記号	名称	主要部材	材質	表面処理	1階
①	20cm換気扇 壁タイプ	①柱	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜	診察室1
②	φ150給気口	②梁	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜	診察室2
③	防虫網付	③鼻隠し(側面)	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜	建築面積
④	防虫網付	④鼻隠し(水上側)	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜	1階床面積
⑤	防虫網付	⑤鼻隠し(水下側)	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜	25.67 m <sup>2</sup>
					延べ面積
					25.67 m <sup>2</sup>



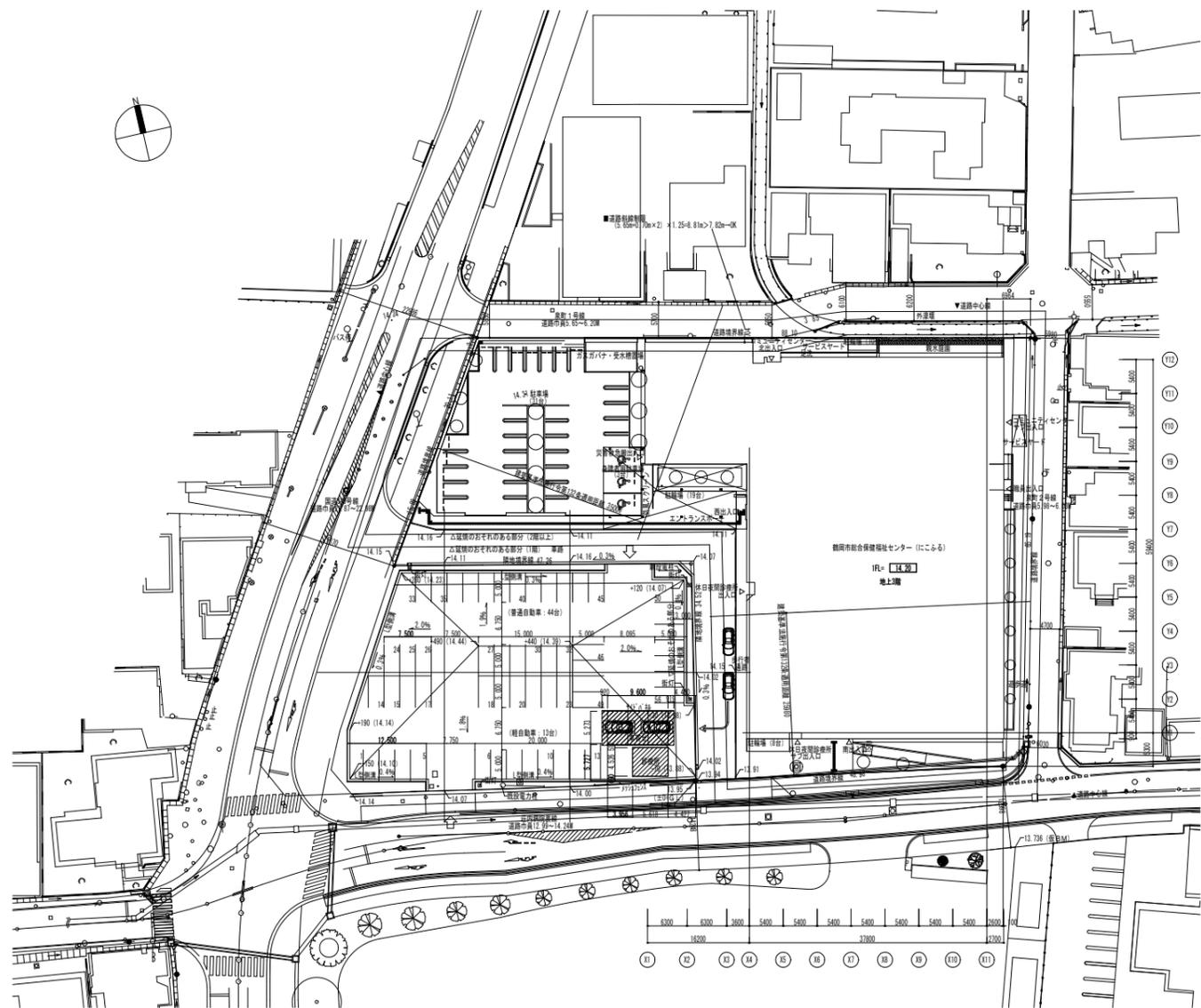
ボーリング標準貫入値、土質構成 (代表的位置の試験結果)

スウェーデンサウンディング試験 No.2				スウェーデンサウンディング試験 No.3				スウェーデンサウンディング試験 No.5									
深さ	土質	5	10	15	20	深さ	土質	5	10	15	20	深さ	土質	5	10	15	20
0.00	砂質土					0.00	砂質土					0.00	砂質土				
0.50	砂質土					0.50	砂質土					0.50	砂質土				
1.00	粘性土					1.00	粘性土					1.00	粘性土				
1.50						1.50	硬質土					1.50	粘性土				
2.00						2.00						2.00					



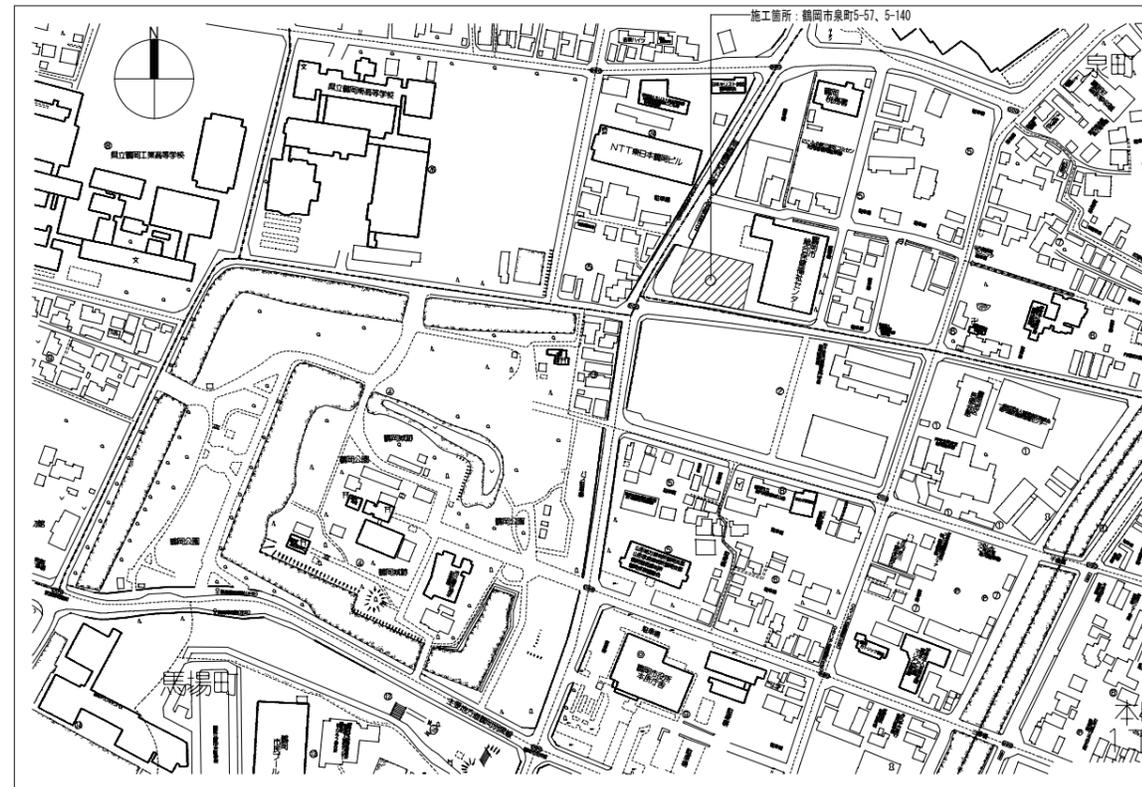
基礎工事 特記仕様	
1.	使用する鉄筋は JIS 規格 S D 295 A とする
2.	基礎ベースのかぶり厚さは 60mm とする
3.	コンクリート打設前に、監督員の配筋、型枠検査を受ける
4.	コンクリートの設計基準強度及び仕様区分は下記による
	Fc-18-15-25 : 均しコンクリート
	Fc-21-15-25 : 基礎・土間
5.	砕石地業は再生砕石 R C 4 0 とする
6.	アンカーボルトは特記による
7.	地盤
	・地盤調査資料 (有)
	・敷地内
	・スウェーデンサウンディング試験
	・長期許容応力度 qa=30.0KN/m <sup>2</sup>





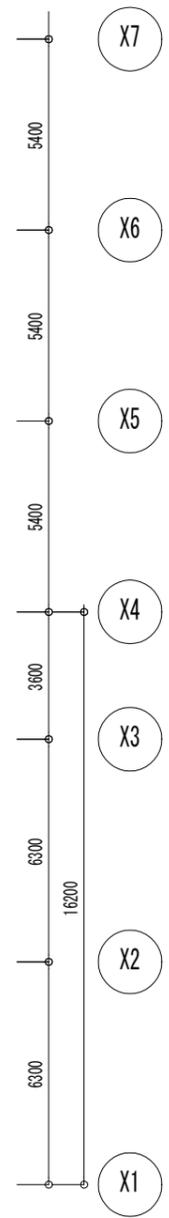
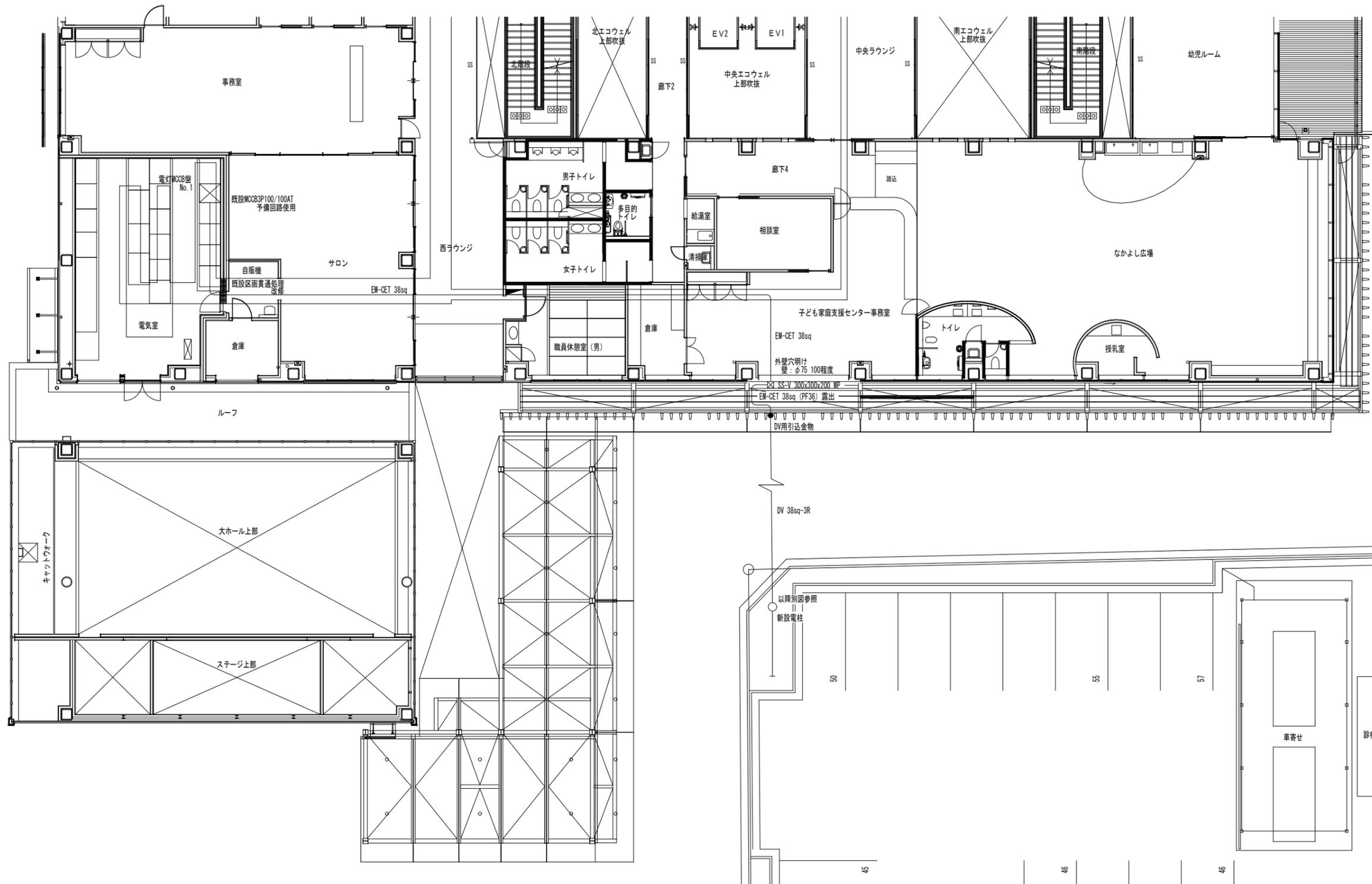
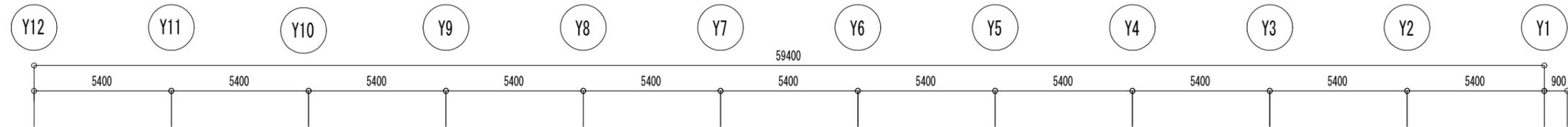
配置図 S=1 : 500

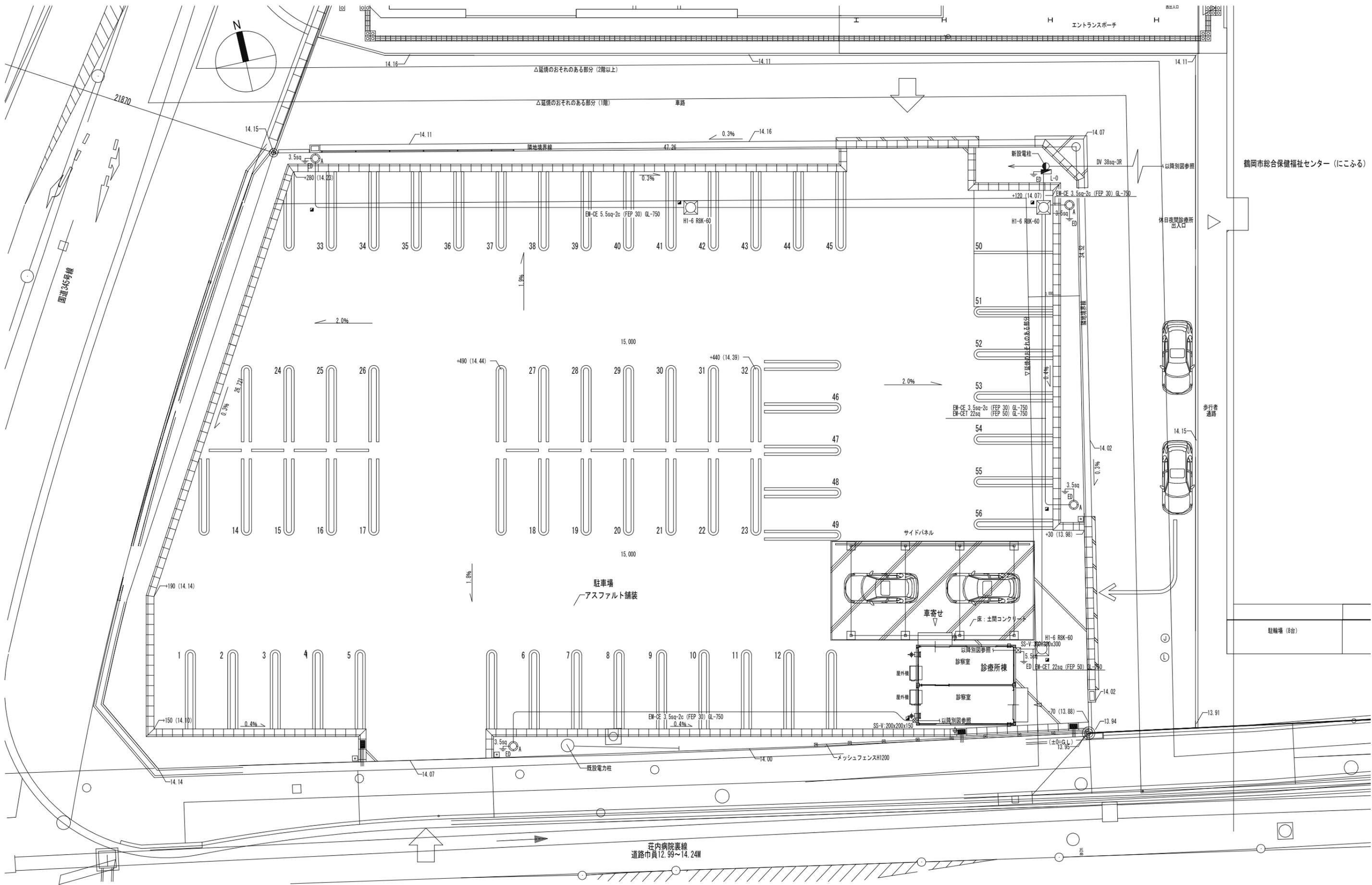
面積表			
敷地面積	1,903.64 m <sup>2</sup>		
	診療所	車寄せ	計 (m <sup>2</sup> )
建築面積	25.67	62.53	88.20
延床面積	25.67	62.53	88.20
最高高さ	3.530 m		
最高軒高	3.137 m		
建ぺい率	4.64 % < 70.00 % (角地緩和)		
容積率	3.71 % < 200.00 %		
用途地域	都市計画地域 (市街化区域) 用途地域: 第2種住居専用地域 建ぺい率: 60.00 % 容積率: 200.00 % 高さ制限: 第1種高度地区 (15m)		
防火地域	準防火地域		
地名地番	山形県鶴岡市泉町5-57、5-140		
主要用途	医療施設 (診療所)		

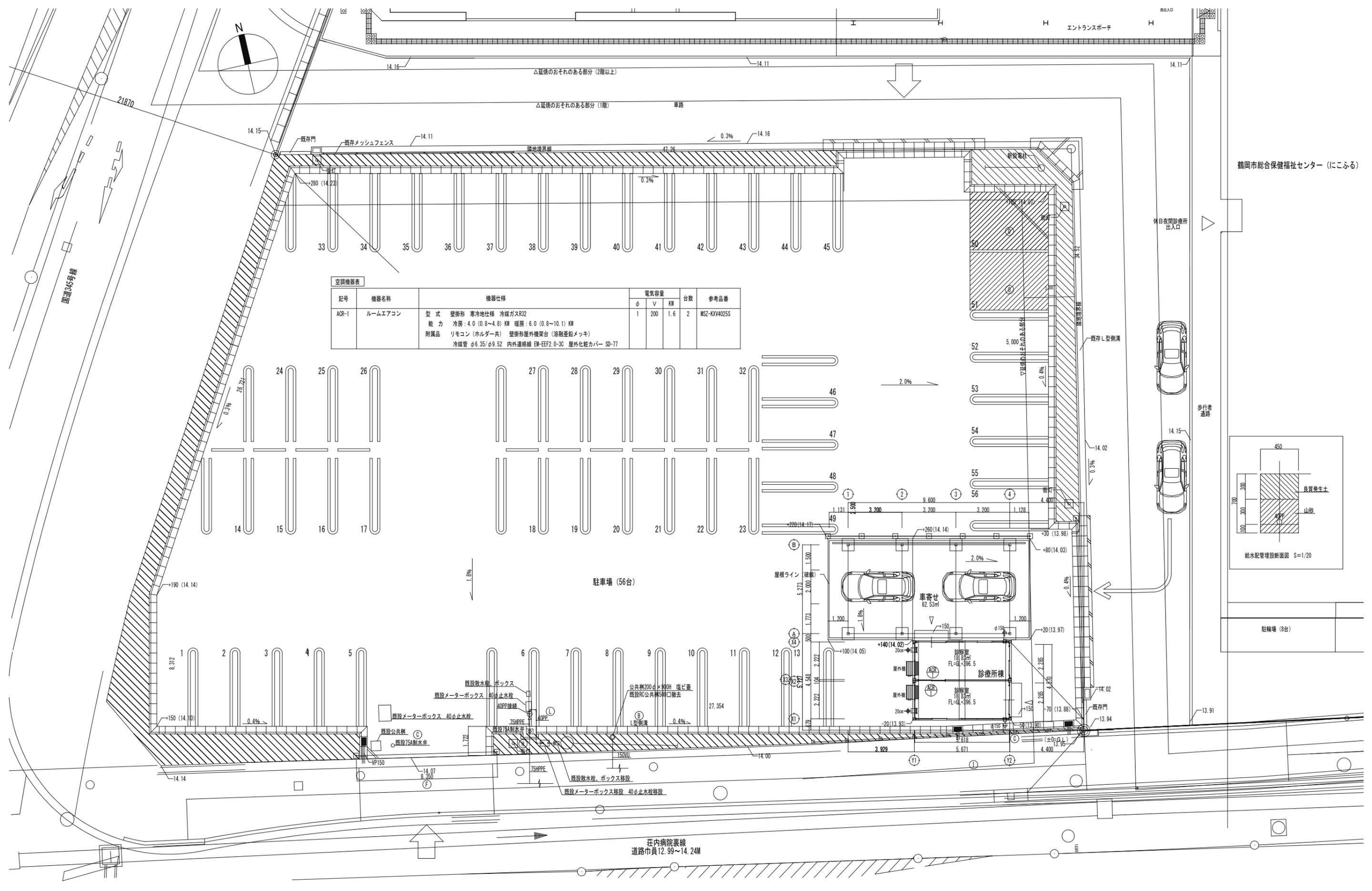


付近見取図





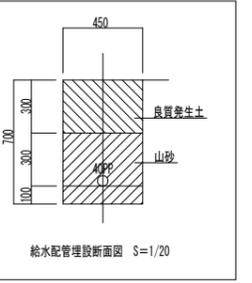




空調機表

記号	機器名称	機器仕様	電気容量		参考品番		
			φ	V			
ACR-1	ルームエアコン	型式 壁掛形 寒冷地仕様 冷媒ガスR32 能力 冷房: 4.0 (0.8~4.8) KW 暖房: 6.0 (0.8~10.1) KW 付属品 リモコン (ホルダー共) 壁掛形屋外機架台 (溶融亜鉛メッキ) 冷媒管 φ6.35/φ9.52 内外連絡線 EM-EFF2.0-3C 屋外化粧カバー SD-77	1	200	1.6	2	MSZ-KXV4025S

鶴岡市総合保健福祉センター (にこふる)



駐輪場 (8台)